

*冬の気配も感じるようになりました。LCAF 通信は不定期発行なのですが、1回/月が定着しそうです。もっと頻繁に発行できるように頑張ります。

//// I N D E X //////////////////////////////////////

- ・ ISO 情報-----ISO/TC207/SC7 (GHG) の総会がありました。
 - ・ ISO/WD14068 (カーボンニュートラリティ)
 - ・ ISO14064-1 (組織の GHG)
 - ・ IWA42 (ネットゼロ) への対応
- ・ LCAF からお知らせ…「LCA 中級研修」は 11 月 10 日 (木)・11 日 (金) です。
 - ・ LCAF 初級検定を行いました。
- ・ 編集後記-----YouTube 配信/ブロムシュテッド/

■■ ISO 情報 ■■

○ISO/TC207/SC7 (GHG) の総会が、10 月 12 日 (水) ~18 日 (火) にフランス・パリで行われました。LCAF 通信の前号 (No.48 ; 10 月 2 日発行) の時には、編集後記で「パリに行くかどうか迷っています。」と書いたのですが、やはり「めんどくささ」が先に立って、オンラインで参加することにしました。パリの 9 時~17 時の会議ですので、日本では 16 時~24 時を土日も含めて 1 週間毎日付き合いました。日中は通常の仕事もあるので、「やっぱりパリに行けばよかったなあ」としみじみ思いました。

SC7 は GHG に関する規格を発行する文科会です。総会ですので、SC7 で発行に向けて作業中のワーキンググループ(WG)が、同じ時間に平行して全て会議を開きます。

SC7 で私がエキスパートを務めている WG は、WG4 (ISO/DIS14064-1 ; 組織の GHG と ISO/DTS : 組織の GHG の算定ガイダンス)、WG14 (ISO/DIS14083 : 輸送の GHG)、WG15 (ISO/CD14068:カーボンニュートラリティ) の 3 つです。これらのうち、WG14 (ISO/DIS14083 : 輸送の GHG) はすでに出来上がっていて発行を待つだけなので今回は WG が開催されませんでした。国内調整で、私は WG4 (ISO/DIS14064-1 ; 組織の GHG と ISO/DTS : 組織の GHG の算定方法) を担当することになりました。後で述べますが、この WG の作業は 2 日間だけ、しかも両日とも早く終わったので、その後は SC7 の国内委員長であるエネルギー経済研究所の工藤さんが担当していた WG15 (ISO/CD14068:カーボンニュートラリティ) に合流しました。それぞれの WG の動きを以下に書きます。

○WG4 (ISO/DIS14064-1 ; 組織の GHG と ISO/DTS : 組織の GHG の算定方法のガイダンス)

・技術報告であった ISO/TR14069:2013 (ISO14064-1 適用のためのガイダンス) を改訂して、技術仕様書(TS)にすることにしたので、これから各国の投票が行われます。この TS は ISO14064-1 (組織の GHG) の算定方法を解説しています。今回の改訂では、Annex にあった削減貢献量の説明を削除し、ISO14064-1 に移すことにしました。Scope3 と ISO14064-1 の関係が Annex で説明されています。Scope3 のカテゴリー14 (フランチャイズ) は組織の管理下にあるものとして特だしいことなどが解説されています。その他は Scope3 のカテゴリーが網羅されています。削減貢献量は、リサイクルで製造される再生材や、回収されるエネルギーの「控除」として紹介されています。これらも、リサイクルしない場合を「ベースライン」とする「削減貢献量」の算定と言えますが、「わが社の製品が社会で使われることによる削減貢献量」とは少し意味が違います。

・ ISO 14064-1 : 2018 の追補として Avoided emissions を加えることにしました。この補遺は、上述したように、もともと ISO/TR14069 にあったものの移動です。今後 Avoided emissions を導入するためにその定義の審議を継続することにし、他の SC から専門家を招き共通の定義を作成することにしました。

・ 全体的には、ISO/TR14069 : 2013 にあった削減貢献量の解説を ISO14064-1 の Annex に移す補遺を作成しただけですが、SC7 として削減貢献量を扱う素地ができたと考えています。

○WG15 (ISO/CD14068:カーボンニュートラリティ)

・7月に発行されたCDに各国が付けた1,350のコメントの採否を議論しましたが、全部の処理が終わりませんでした。12月までにオンラインで約10回のWGを行うことになりました。

・主な議論は、削減を限界まで行った結果のend-stateに行き着くまでのtransition-stateで、どのように削減と除去及びカーボンクレジットを購入するオフセットを組み合わせるか、グリーン電力証書の使用を認めるか、などです。また、LCAF通信の前号で報告したように、IWA42（ネットゼロ）の最終ドラフトが出たので、それと本規格の関係がどうなっているのかを明確にするAnnexを付けることも議論されています。

・現在のドラフトはCDです。まだ決まらないことが多いので、11月末までにDIS（規格の原案）がまとまらない可能性があります。そうなると、ISO（国際標準規格）としての発行をあきらめ、TS（技術仕様書）としてまとめる可能性があります。最初に述べたように、このひと月の間に行われるオンラインのWGの作業が重要になります。

○最終日10月18日の総会で、IWA42（ネットゼロ）の発行を見合わせるようにISOの中央事務局に要請することが決まりました。IWA（International Workshop Agreement）は、国際ワークショップを開催して、大多数の賛成を得た文書として発行される文書です。前回解説したように、全体としてはSBTiの“PATHWAYS TO NET-ZERO”を強く意識した文書になっていると感じています。従来SC7の規格との整合性がとれないという意見が多く出されて、発行に「待った」をかけることになりました。10月28日にこの提案に賛成するかどうかの問い合わせが各国に送られたということです。さて、どうなることやら。。。ですね。

・私は「待った」することに賛成です。国際ワークショップでの合意というのは、そこに集まる人の合意ですから、もともと賛同しない人は参加していないことが多いと思います。ネットゼロのような政策的な色合いが強いテーマについては、この傾向が強いように思います。

○明日10月31日からエコバランス国際会議が福岡の会場とハイブリッドで行われます。LCAFはスポンサーとして「カーボンニュートラルリティと削減貢献量」という特別セッションを11月1日（火）午後開催します。ISO14068の議長に、ISO14068とIWA42について話すように頼みました。日本に来ることができないので、オンラインで話すといっています。また、ISO14064-1の議長に「削減貢献量」のISO化について話してもらう約束になっています。こちらは、ビデオを送ってくる約束です。上述した、TS207/SC7の総会の直後ですので、どんな解説をするか、楽しみです。

■■ LCAF からのお知らせ ■■

- ・次回LCA中級研修：2022年11月10日（木）と11日（金）の午前です。
- ・「LCA初級検定」を10月15日（土）に行いました。
もうすぐ問題と解説をホームページに公開します。
- ・次回の初級研修は、2022年12月12日（月）と13日（火）の午前です。

■■ 編集後記 ■■

ご存じの皆さんも多いと思いますが、経済産業省がカーボンフットプリント（CFP）の新しい委員会を立ち上げました。私が委員長を務めています。最近Scope3を実施する企業が増えています。カテゴリー1（購入した製品・サービスのGHG）が必要になるので、バリューチェーンでのLCAデータの流通の促進方法を考える委員会だと思っています。

9月22日午後に第1回目の委員会が経済産業省でハイブリッド開催されました。その時には私は知らなかったのですが、YouTubeで配信されていたそうで、後で「見ました」とたくさんの人に言われました。このような委員会の傍聴がYouTubeで視聴できるようになったのは、コロナ禍の対処が進んだからだと思います。第2回目10月27日午前にありました。YouTube配信されていると知ったので、かなり緊張しました。あがり症なので困ります。

委員会の委員長なので、委員の皆さんが意見を言いやすいようにしなければならないのですが、カーボンフットプリント（CFP）なので、つつい2008年～2010年頃のCFP試行プロジェクトのことを話したくなります。また、LCAの基本も解説したくなります。昔のことを言いたくなるのは、「トシ」なんでしょうね。

ただ、言い訳をしますと、熱意を持って話す人の議論が「知らないだけの新しさ」に聞こえる時があるのです。自分が思いついたことはたいてい昔の人がやっているのです。過去の文献調査を丁寧にやるように教えられてきました。昔の人がやっていないことを見つけることはほんとうに

たいへんです。「知らないだけの新しさ」に、私も注意しようと思います。

「トシ」といえば、、先日ほんとうに久しぶりにサントリーホールに行きました。私の音楽の好みは、カラオケの♪長崎は今日も雨だった～♪だけだと思っている人が多いようですが、そうでもないのです。ウイーン滞在が私を変えたんですね。指揮者はブロムシュテッドでした。さすがに椅子に座っての指揮でしたが、95才でまだ現役なんですね。

あの小沢征爾さんがテレビのインタビューで「私が現役の時は。。。と言っていたのを聞いたのはいつだったのだろう」と思い返しています。現役ではないと自分で言ったらいけないのかもしれない。私もまだ頑張らなければと思います。

(LCAF 理事長 稲葉 敦)

ご意見,ご感想,本メールマガジンの解除のご連絡はこちらまで
lcaf-contact@lcaf.or.jp

一般社団法人 日本 LCA 推進機構
Japan Life Cycle Assessment Facilitation Centre (LCAF)
(エルカフと呼んで(読んで)ください)
〒170-0013 東京都豊島区東池袋 1-36-7
アルテール池袋 608
電子メール : lcaf-contact@lcaf.or.jp
URL:https://lcaf.or.jp/